
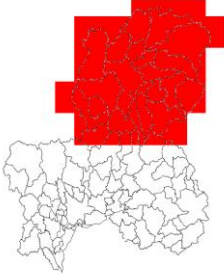


キバナノショウキラン	<i>Yoania amagiensis</i> Nakai et F. Maek.	絶滅危惧 I 類	
(環境省:絶滅危惧 I B 類)		ラン科	
選定理由	園芸目的の採取圧がある。	写真(岐阜県博物館) 標本 	
形態の特徴	高さは20-40cm。唇弁の内部に紫色の斑点がある。全体が黄褐色で花数は6-15個と多い。ショウキラン特融の顎状になっている。花期は8月。		
生態的特徴	樹林下に生える菌従属栄養植物。		
分布状況	本州、九州、四国に分布する。岐阜県では飛騨地方に分布する。		
減少要因	園芸目的の採取による。		
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。		
特記事項			
参考文献		<small>※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。</small>	

文責:山崎玲子